

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2971400227
法人名	有限会社 エムティーケイ
事業所名	グループホームやわらぎ
所在地	奈良県生駒郡平群町上庄3-7-25 (電話) 0745-45-3511
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成21年1月30日

【情報提供票より】(21年1月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成18年4月1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	15 人
利用定員数計	15 人
常勤	12人, 非常勤 3人, 常勤換算 12.5人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2階建て 1階 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	40,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,600 円			

### (4) 利用者の概要(1月15日現在)

利用者人数	14名	男性	4名	女性	10名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	名		
年齢	平均 83歳	最低	74歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人やわらぎ会やわらぎクリニック他
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、自然も残る高級住宅地の中に新築開設されています。外観は落ち着いた色調で周辺の住居に溶け込んでおり、玄関前には季節の花の植栽がなされ和みを感じられます。ホーム内は、明るく清潔感が溢れ、入居者は本人の生活リズムで穏やかに過ごされています。職員も入居者本位の姿勢を堅持し支援されています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	新設後1年未満のため、過去に外部評価の受審はなく今回が始めてです。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスの自己評価する意義・目的を正しく認識され、全ての職員参画の下に行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の設置の必要性を理解されていますが、設置するまでには至っていません。構成メンバーの選考過程にありますので、行政とも相談され早急に設置される事が望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時等に不安を感じられている事や意見・要望を積極的に聞きだす取り組みがなされており、寄せられた意見等は職員会議で検証・検討され運営に活かすよう努められています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地元自治会に加入され、清掃活動や廃品回収等を通じ地域社会・住民との交流に努められています。また、ホーム行事等への参加の呼びかけ等もなされています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスである事を深く認識され、入居者の意思及び人格の尊重と共に、地域の人々との友好関係の構築を重視した指針が作られています。		ホームの理念は、そのホームが目指すサービスのあり方を端的に示したものであり、ホーム全体として質の確保に取り組む上での根本的な考え方です。指針にも地域の人々との友好関係の構築の重視が謳われていますので、今後、更にこうした地域の中でその人らしく生活することを支えるケアとしての地域密着型サービスの役割を考慮した理念づくりを期待します。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的開催されている職員会議等で話し合いがなされ、また、事務室やフロアに理念の掲出があり共有化と実践に活かす取り組みがなされています。		理念の掲出がなされていますが、内容が若干形式的に感じられますので、内容や表現に工夫される事を期待します。
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元自治会に加入し、清掃活動や廃品回収等を通じ地域社会・住民との交流に努められています。また、ホーム行事への参加の呼びかけ等もなされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の必要性を正しく認識されており、自己評価についても、課題の把握と改善点を明らかにする事を視点に全ての職員の参画の下に実施され、サービスの質の維持・向上に活かす機会とされています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議設置の意義・目的は理解されていますが、未設置の状況にあります。		構成メンバーの選考過程にありますが、行政とも相談され早急に設置される事が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスは行政との連携は不可欠の思いがあり、運営上の問題点の相談や各種の情報交換等に毎月数回訪問されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の訪問時に生活の様子等を伝えると共に、暮らしぶりについて毎月担当者の手書きにより報告されています。また、健康状態に変化が見られる時は、その都度家族に相談・連絡されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に不安を感じられている事や意見・要望等を積極的に聞きだす取り組みや、家族会でもこれらについて意見聴取等がなされているほか、意見箱が設置されています。これらで寄せられた意見等について検証し、サービスに活かす取り組みがなされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者の安定した生活の継続には、信頼関係の構築が極めて大きな要因との考えから、職員はユニット毎の専任性とされています。なお、職員の異動時には、混乱や不安を無くすために、入所者一人ひとりに紹介する事とされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は業務実践の中から互いに研鑽されると共に、事業所内で研修会も開催され、その育成に努められています。		職員の資質の向上は、サービスの質に連動するとの思いがあり、外部研修の受講や計画的な研修会等の開催について検討されていますので、実施を期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、地域の同業者等との交流は持たれていますが、職員が勉強会等交流するまでには至っていません。		他の同業者等との交流を図る事は、職員の育成とサービスの質の向上に大きな効果をもたらしますので、検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居は、本人の納得が前提である事から、家庭での暮らしの様子や行動・意向等を詳細に確認されると共に、ホームの見学時等に馴染みやすい機会や時間を提供され、安心した移行に努められています。		
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントでの情報や暮らし中での情報を基に、知恵を活かす事を大切にされ得意分野(料理・野菜作り等)で能力が発揮できる機会を提供し、話題づくりと協働・共感する関係に努められています。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントで得た情報や暮らし中での言動を詳細に記録・整理され、職員の共有化を図り一人ひとりの暮らしに反映されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	「自分らしく生活する」視点を大切に入居者や家族の意見を十分聞き、ホーム内での生活リズムや課題を検討し、計画担当者を中心に3月単位の介護計画が作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の状況に変化が見られる時には、担当者が家族等と相談され現状に即した計画に随時見直しされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況を勘案され、通院や買い物等柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については入居時に相談され、家族の協力も得ながら従前からの医院での受診にも対応されています。なお、毎月協力医の往診があり、かかりつけ医とも連携が図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への対応は極めて重要な課題と認識されており、関係者間で話し合いが重ねられています。最終的には家族が判断される事ではあっても、対応できる体制の整備と職員への周知も図られています。なお、看取りの実績があります。		関係者間で十分検討され、明確な方針が確立されていますので、より認識・浸透を図るために成文化を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	運営方針の一つの柱「入居者の意思及び人格の尊重」を基本に、入居者の目線での支援(話し掛け・行動)に心がけられています。また、各種記録等は適切に管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活の目安とする時間帯の設定がありますが、本人の生活リズム・ペースを優先した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の意欲や能力に合わせ、調理の準備や配膳等に協働され、静かなBGMが流れる中で職員と一緒に楽しく食事を摂られています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定がなされていますが、本人の希望を優先した支援に努められています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	暮らしの中に、得意分野で能力が発揮できる機会(食事準備・野菜の育成等)作りやレク時間の設定・外食やドライブ等がなされ、楽しみ事・気晴らしへの支援がなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や体調を勘案され、近くの公園周辺の散策や買い物等外出機会の確保に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛ける事の弊害を理解されていますが、ホーム前の道路は通行車両が多く、安全面への配慮から家族の了解の下に施錠がされています。		施錠による弊害は正しく認識されていますので、職員の見守りの徹底や連携、入居者一人ひとりの外出のくせや傾向をつかんで対応する等安全確保に配慮し、鍵を掛けないケアへの工夫を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災や地震等の災害時への対応の認識があり、必要な対策の検討段階にあります。		火災発生時には、入居者を安全かつ迅速に屋外に誘導する事が求められます。このことから、定期的な避難訓練の実施と共に地域住民の応援・協力も不可欠とされますので、協力体制の整備が望まれます。また、震災に備え、最小必要限の物品の備蓄についても検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の摂取量や水分補給の状況を詳細に把握され、適切な支援に努められています。また、体調に合わせた調理に工夫がなされています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、清掃が行き届き明るく異臭も無く清潔感があり、季節に応じた装飾が適宜施され居心地良く過ごせる場所になっています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や好みの置物等が持ち込まれ、穏やかに過ごせる場所になっています。</p>		